川村義肢株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
川村　慶

健全な企業活動を続け、すべての社員と家族を幸せにし、社会の進歩発展に貢献し続ける。
1946年の創業から80年の節目を迎え、創業の精神を次代に継承し、創業者や先達が描き、追い続けた夢を実現するために100億円宣言をいたします。
原点に立ち返り、時代の医学と工学の最先端を追求し、社員とそのご家族はもとより、医療・介護・福祉、この業界で働くすべての方々、取引先の方々の働く喜びと豊かさを実現します。あわせて、この業界を志す次代の人材が活躍するための舞台を整えます。病を患っても、障害をもっても、お年を召してもすべての人が地域で自分らしくよく生きる。リハビリテーション日本を担う企業としてさらなる高みを目指し、成長を実現します。
祖業の健全発展にのみ安住せず、先人を超える闘争心をもって未来の事業づくりに挑戦します。



大東本社外観

〇本社所在地：大阪府大東市
〇事業概要：　義肢装具・自立支援機器の製造・小売・レンタル、機器の適合及び保守等サービスの提供
〇常時使用する従業員：565名
（2026年6月時点）
〇現在の売上高：73億円
（2026年6月期）
〇法人番号：8120001062400
〇Web：https://www.kawamura-gishi.co.jp

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

２０３２年売上高１００億円の達成に向け、年率４％程度の実質成長を実現する。（既存事業３%、新規育成事業１５%成長）
地域の医療介護福祉を支え続ける不可欠な社会インフラとして社員を大切にし、持続的な事業成長を実現する。
アジア各国への展開も念頭に、リハビリテーション産業のトップランナーとして国内製品供給体制を整備強化する。スマート化をキーに新たな付加価値事業創出に挑戦し高い事業成長を得る。

課題

１）既存の能力×既存顧客
　ー　UXの極大化：専門的かつシームレスな最良の顧客体験
　ー　生産性の極大化：　生産活動、営業活動のスマート化
２）新たな能力開発×顧客・付加価値の拡大
　ー　情報ストック資産を活用した新たな付加価値事業
　ー　高度な専門性とものづくり力による自費事業の拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

１）医療・在宅・介護、独立事業単位である個別事業の健全成長
２）独立事業間でのお客さま体験を極大化。デジタル支援整備
３）徹底した製造現場の省力化、スマート化
４）組織でお客さまと社員を支える営業活動のスマート化
６）受託生産事業のさらなる強化と拡大。
７）膨大な情報ストックを活用した医療支援事業開発
８）高度専門人財と尖ったものづくり力による自費市場開発
９）M&Aを含む新たな付加価値提供事業への挑戦

実施体制

100億企業実現PJ全体は川村慶が統括し、取締役がその進捗を管理監督する。実施体制は以下の通りとする。

① 既存事業における成長の実現
　ー　各事業部担当取締役、部門責任者　ー定例部門長会議
② 新たに事業分野における成長への挑戦
　ー　100年PJを立ち上げ、次世代の経営者、管理職

①②とも専務取締役が具体的な進捗を監督支援する責任を負う。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

川村義肢株式会社（製造業）

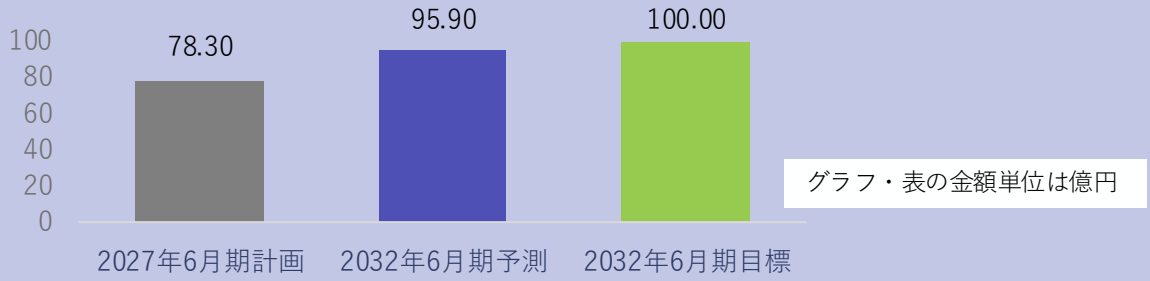
既存事業の実質成長予測と新規事業の成長目標

① 既存事業による確実な成長の実現

既存7事業と住環境整備で、72.3億円から83.7億円へ

② 新規事業による顧客の拡大と成長の加速

公費にのみ依存しない顧客価値と収益源をつくる



当社の事業の多くは医療・介護・福祉の公的財源に依拠しており、製品の大半は公定上限価格が設定されている。公定価格は3年ごとに改定されるが、自社でコントロールできるものではない。既存事業の成長は2026年7月時点での公定価格に基づき試算した実質成長としている。すでに一定の売り上げを獲得している新規事業との2032年6月期の売上額予測は95.9億円と100億円に不足する。2032年までに2回の公定価格改定を見込んでおり、価格改定により2032年6月期に100億円の売上達成は確実に実現できるものと確信しているが、成長を加速し100億円売上達成を確実なものとするために、新規育成事業の事業像、成長目標を明確にし公費にのみ依存しない新たな成長エンジンを獲得する。

既存事業・育成事業	2027年計画	2032年予測	成長の主な打ち手
治療用義肢装具	18.5	23	提案力・適合品質と製造の効率化
在宅補装具	10.6	11.4	継続支援と営業業務の効率化
発達支援	11.4	12.5	成長に応じた提案と納期管理
福祉用具レンタル等	7.8	8.8	紹介先・地域拠点の拡大
補聴器	4.1	4.8	再来店・買替と病院紹介の拡大
ストーマ・おむつ	6.5	7.1	WEB受注拡大と紹介先開拓
関東事業	12.6	15.1	各事業の成長施策を組み合わせる
住環境整備	0.8	1	福祉リノベーションと販路拡大

新規育成事業	2027年計画	2032年予測	具体化・検証する方向
生産受託事業	3.9	7.7	国内受託拡大・海外展開と自費領域
高付加価値来社	2.2	4.5	専門職連携による自費サービス（仮説）
医療連携教育・啓発			教育・研修への対価の可能性（仮説）
ペット用装具製造供給			獣医師連携と飼い主の需要（仮説）